ボーリング柱状図

名 相原駅東口アクセス路道路地質調査業務委託 査 ボーリングNo 事業・工事名 北 緯 35° 36' 16.6" ボーリング名 B-No.2調査位置 東京都町田市相原町地内 経 139° 19' 55.7" 発 注 機 関 町田市道路部道路整備課 調査期間 平成 31年 2月 27日 ~ 31年 3月 1日 東 ボーリング 主任技師 調査業者名 鑑定者 代 理 人 責任者 北 0° 使用 180° 方 ハンマー 試 錐 機 半自動型 KR-100 孔口標高 鉛水平0° 270° 落下用具 +140. 046m 上 盤 90° 90° 勾 機 東 西 直 エンジン NS75 ポンプ V 6 – D 総掘進長 16.39m 配 種 向 180°南 孔 置試験試料採取室 標 標 層 深 柱 土 色相相 記 標準貫入試験 原 位 内 深 10cmごとの 打 水 名 験 深 深試採 試 進 位 質 対対 験 および結果 値 Ν 打擊回数 口 (m) 料取へ 状 高 厚 度 尺 度 0 10 20 度 度 月 X 密稠 測 貫 番方 定 入 月 日 义 分 調 度度 (m) 10 20 30 (cm) (m) 号法 (m) (m) (m) (m)(m)表層5cmは防塵処理舗装であり、GL-灰 の、15mまで路盤である 以深、粘性土主体の埋土となる 含水中位、粘性中位 所々に礫及びガラを混入する 埋土(粘性土 1.15 1 暗 18 17 35 2 1.50 2 138.05 2.00 2.00 褐 含水中位、粘性中位 全体にスコリア及び炭化物を混入 110 2 ① 物理力 学試験 暗 火山灰 い。 所々に礫が混在する 下位に従い、砂及び礫の混入が多く 質粘土 褐 か 2.90 3.15 1 1 1 3 136.55 1.50 3.50 kp 2 2 35 含水中位 3.95 2 3 3 30 5 褐灰 ~黄 褐灰 **♦2mm~40mm程度の亜角礫主体を主体とし、** 緩 粘土混 り砂礫 4.15 30 135.45 1.10 4.609 全体に粘土分が多く混入する 4,45 非常 に軟 会水中位、粘性中位 会体にスコリア及び炭化物を多く混 入する 5 5.15 火山灰 質粘土 褐 32 32 5.47 灰 134.15 1.30 6.15 2 3 2 含水中位 黄 緩 ☆2mm~40mm程度の亜角礫を主体と 粘土混 り砂礫 30 褐 6.45 7 133.05 1.10 7.00 全体に粘土分を多く混入する 7.15 含水中位、粘性中位 全体に礫及び砂を多く混入し、 局部的に10cm程度の砂層を挟む 20 16 36 2 7.51 褐 カコ 灰 8.15 131.75 1.30 8.30 19 13 32 2 含水中位 φ 2mm~40mm程度の亜角礫を主体と 褐 緩 9.15 3 2 灰 30 7 全体に粘土分を多く混入する 含水中位、粘性中位 全体に20mm程度の礫が点在し、 所々に火山噴出物、炭化物を多く混 入する 9.45 130.25 1.50 3 6 黄 10 10.15 礫混り 粘土 30 6 褐 129.55 0.70 10.50 10.45 灰 11 11.15 含水中位 15 30 褐 ぐら ◆2mm~40mm程度の亜角礫を主体と 粘土混 り砂礫 11-45 灰 4 2 10 全体に粘土分を多く混入する 12.15 127.70 1.85 12.35 30 10 非常 含水中〜多い 粘性中位 に軟 全体に φ 2mm 〜20mm程度の亜角礫を らか 混入し、 所々砂分が多くなる 12.45 黄褐 礫混り 粘土 13 13.15 31 31 13.46 29 15 6 50 14 2 22 68 含水中位 φ2mm~60mm程度の亜角礫を主体と 黄 27 10 11 6 15 褐 15.15 、 礫間充填物は砂と粘土である 局部的に10cm程度の粘土層と、 φ100mm程度の玉石が混在する 30 27 灰 15.45 16.15 15 17 18 礫 50

4 24 63

16.39

16

123.66 2.69 16.39